

日メキシコ共同プレスリリース（概要）

I 二国間関係の新たなフロンティアを拓く

1 あらゆるレベルでの政策対話を引き続き促進する

①首脳・外相レベルの頻繁な会談の継続。②議員間交流支援。③政策対話の場の拡充。

2 両国での諸改革を通じ、経済関係を新たな次元に格上げする

①両国の経済改革の成果を強調。②10年前署名の両国EPAの経済関係への貢献を強調。③第31回日墨経済協議会開催を歓迎。④ペニャ・ニエト大統領はメキシコに進出する日系企業の増加に感謝。⑤両国のビジネス環境の改善への努力の継続で一致。⑥安倍総理は、中小企業・裾野産業支援の継続を表明。⑦メキシコ政府によるサムライ債600億円の単独発行を歓迎。⑧メキシコのインフラ需要を認識し、協力連携の進展を歓迎。⑨原子力協定交渉の進展を歓迎。

3 科学・技術、教育及び文化の分野における更なる交流と協力を推進する

①「日メキシコ戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画」の継続。②第2回日墨学長会議開催の確認。③東京大学と国家科学技術審議会（CONACYT）による留学生派遣覚書締結を歓迎。④宇宙分野の対話の実施。⑤医療・保健分野の協力強化を確認。安倍総理から「低侵襲医療技術協力プロジェクト」の立ち上げを表明。⑥安倍総理から2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催決定を踏まえた、国際貢献策「Sport for Tomorrow」の実施を表明。⑦「日メキシコ交流年」のハイライトである本年10月のセルバンティーノ国際芸術祭の成功に向けた協力。

4 共に近隣諸国等の発展を支援する

日墨パートナーシップ・プログラム（JMPP）の継続。

II 国際社会の平和と安定及び繁栄に共に貢献する

（1）国際社会の平和及び安定において、引き続き積極的役割を果たすことで一致。

（2）①WTOの下多国間貿易体制の維持と強化に合意。②TPP交渉早期妥結及び発効に向け参加国を慫慂。③両国EPA再協議の第1回会合を9月前半の実施に向け調整。④G20やOECDでの協力。

（3）本年4月広島での「第8回軍縮・不拡散イニシアティブ（NPTDI）」の実施を歓迎。NPT体制の強化及びその完全な実施に一致。

（4）二国間クレジット制度の発足を歓迎。高効率石炭火力発電技術活用の重要性を認識。

（5）安保理の包括的な改革の重要性で一致。

（6）北朝鮮の核・ミサイル開発の継続に対する深刻な懸念を表明。北朝鮮に拉致問題を含む人道上の懸念に対して速やかに措置をとるよう強く要請。

（7）APEC、太平洋同盟、CELACとの連携・対話を強化。

（8）2015年の第3回国連防災世界会議の重要性及び災害リスクの予防と軽減のための国際的枠組み構築へのコミットメントを確認。